

施策マネジメントシート(平成29年度の振り返り、総括)

作成日 平成 30 年 6 月 21 日

基本目標	V	豊かな心と文化を育むまち	主管課	名称 教育課
			課長	杉木 隆司
施策	27	生涯学習の推進	関係課	

施策の目的	対象	意図	基本事業	基本事業名	対象	意図	
	①町民	①生涯を通じて自主的に学習する。		1	学習意欲の高揚	意欲や関心がない人	生涯学習への意欲や関心を高める。
				2	学習機会の充実	生涯学習に取り組んでいる人、意欲や関心がある人	学習する機会を得られる。
				3	学習環境の整備	生涯学習に取り組んでいる人、意欲や関心がある人	学習する場を確保できる。
				4			
				5			

成果指標	成果指標名		単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	A	日頃から、生涯学習を行っている町民の割合	%	実績値	35.5	27.4	25.7	23.9	23.9	25.4	28.7
				目標値		35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0
	B	文化協会加盟団体登録者数	人	実績値	1,331	1,314	1,207	1,012	1,041	1,024	946
				目標値		1,320	1,320	1,320	1,320	1,320	1,320
	C	生涯学習施設利用者数（中央公民館・水上公民館・新治公民館）	人	実績値	13,700	13,865	13,227	13,279	12,244	10,013	8,300
				目標値		14,000	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000
	D			実績値							
				目標値							
	E			実績値							
				目標値							
	F			実績値							
				目標値							

指標設定の考え方と実績値の把握方法	A) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。 町民アンケートにより把握 ※あなたは日頃、テーマを持って学習活動に取り組んでいますか。→「ほぼ毎日」、「週に1日以上」、「月に1回程度」、「年に数回程度」と回答した人の割合
	B) 文化協会登録団体者数（自らの教養を高めるための学習活動を行っている人達）であり、数値が変わらずに推移すれば目標が達成できているといえるため成果指標とした。 C) 中央・水上・新治の3公民館で生涯学習のために利用した人数であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。

目標値設定の考え方	A) 生涯学習を行っている人（文化協会など）には高齢者の割合が高い。若い人の参加が鈍いことを考えると、今後、学習を行っている人の割合が徐々に減少すると想定される。 平成20年度水準（35.0％）を維持し、町民の3人に1人以上が生涯学習を行っている状態をめざす。 B) 文化協会加盟者は、高齢者が多く人数も減少傾向である。現状を維持するため各文化団体を支援し町文化祭への参加と充実。また生涯学習活動のきっかけを作る事業を実施し、文化協会に加盟してもらえよう自主活動グループの育成をめざす。 C) 施設利用者は町内教育委員会管理施設で開催されている各教室、講座等の延べ数。
-----------	---

施策のための役割・目標達成	1. 町民（事業所、地域、団体）の役割 ①生涯学習の必要性を感じ、生きがいとなるような学習活動を行う。 ②学習の楽しさを広め仲間づくりを行うなど、普及啓発に取り組む。 ③指導者となり、さらには後継者を育成する。	2. 行政（町、県、国）の役割 ①生涯学習の機会の提供や契機づけを行う。 ②生涯学習施設の整備と管理運営を行い、生涯学習を行うための場を提供する。 ③生涯学習を行う人・団体の活動を支援する。
---------------	--	--

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況（対象や法令等）は今後どのように変化するか？ ①今年度のアンケート結果を見ると生涯学習を行う人の割合は40代が低い結果となっている。 ②生涯学習に関して、今後5年間は法的に大きな変更はない。 ③社会教育委員により報告された町内の図書環境についての提言書を受け、蔵書検索機能の導入及び図書管理システムの一元化の検討。 ④今後、高齢者の利用が増加するためバリアフリー等、利便性の良い施設が必要となる。	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？ ①毎年、講座修了後のアンケート等から手帳（初心者向け）に学びたいという声があり、学習講座の開催を希望する声がある。 ②各団体の講習会等開催チラシ配布の依頼や後援等の支援要望がある。文化祭の会場設営では、参加者の高齢化に伴い手伝いを出していただきたいとの要望がある。 ③各図書室について改善要望の声がある。 ④施設によっては、駐車場の確保やバリアフリーが必要という声がある。
-----------	--	--

施策	27	生涯学習の推進	主管課	名称 課長	教育課 杉木 隆司
----	----	---------	-----	----------	--------------

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	実績比較		背景・要因
	①時系列比較	☐ かなり向上した。 ☒ どちらかといえば向上した。 ☐ ほとんど変わらない。(横ばい状態) ☐ どちらかといえば低下した。 ☐ かなり低下した。	①「日頃から生涯学習を行っている町民の割合」を年度比較すると、平成27年度23.9%、平成28年度25.4%、平成29年度28.7%と年々順調に増加してきている。年代別の比較でも全ての年代で前年度を上回っており、徐々に生涯学習フェスティバルやカルチャーセンターだより、生涯学習だよりが町民に活用され、生涯学習への意欲や関心が浸透してきていると考えられる。 ②文化協会の会員数は、平成27年度に若干増加に転じたが、その後は減少の一途である。文化協会を支えている会員の多くは高齢化が進んでおり、会の活動が困難となる団体が生じている。 ③年々生涯学習施設の利用者数は減少が続けている。中でも、各公民館は生涯学習活動の拠点として、サークル活動や学習活動等に利用されているが、図書室の環境整備やバリアフリー化など利便性の遅れが減少の一因と考えられる。
	②他団体との比較	☐ かなり高い水準である。 ☐ どちらかといえば高い水準である。 ☒ ほぼ同水準である。 ☐ どちらかといえば低い水準である。 ☐ かなり低い水準である。	①町では、公民館事業としての講座やイベントは実施しておらず、生涯学習推進室の企画事業のみである。カルチャーセンターでは、自主事業として「風」による演劇教室を継続実施しているが、参加者が増えない状況がある。 ②文化協会の活動は近隣市町村と比べ自主的に企画立案し、活動内容【研修会・講習会・後継者育成等】では充実が図られている。しかし、平成29年度郡内の文化協会員数(人口比率)は、全町村で前年数値を下回っており、高齢化等同じ課題を抱えていると考えられる。数値で見ると、みなかみ町 946人(4.8%)、昭和村 428人(5.6%)、川場村362人(10.8%)、片品村367人(8.0%)であり人口比率は郡内で低い位置にある。 ③生涯学習施設の一つである図書館の無い自治体は、県内35市町村の内みなかみ町を含め12町村である。図書室の1人当たりの蔵書冊数は、みなかみ町 3.4冊、昭和村 2.4冊、川場村 3.7冊、片品村 1.7冊で、郡内では比較的高い位置にある。
	③目標の達成状況	☐ 目標値を大きく上回った。 ☐ 目標値を多少上回った。 ☐ ほぼ目標値どおりの成果であった。 ☒ 目標値を多少下回った。 ☐ 目標値を大きく下回った。	①アンケートの数値は年々上昇しているが(平成29年度28.7%)、目標値(35%)には達していない。ただ、生涯学習は多種多様であり、個人の意識にもそれぞれのとらえ方に違いがある。学習を行っていると捉えている人、あくまでも趣味として楽しんでいる人など様々であり、アンケートだけでは捉えられない部分もあると思われる。 ②文化協会登録者数は、高齢化が進み、平成29年度は946人まで減少し、目標値の1,320人との乖離値も広がっている。そんな状況の中でも、役員を中心に文化祭や教養講座等自主的な運営がなされている。 ③公民館利用者数は、計画途中で利用者数の把握方法を変更したことの影響も有り、目標値を大きく下回っている。中でも新治公民館の活用が少ない状況にある。各施設は、サークルの学習活動やキッズセンター、青少年の体験活動等の機会提供や居場所づくりに利用されている。また、減少要因の一つとして、既存施設のバリアフリー化が進んでおらず利便性に欠ける点があげられる。
成果実績に対しての総括		①文化・社会教育の振興を図るため、公募団体に対して文化振興費補助金 870千円を9団体に交付した。 ②文化水準の向上、生涯学習への意欲の向上のため文化協会主催で、文化祭を3地区で開催し日頃の学習成果の発表の場を設けた。 ③社会教育委員会は、主管団体として生涯学習フェスティバルを運営、生涯学習に関する住民の理解向上と取り組みの促進を目的とする「生涯学習だより」に寄稿するなど、積極的に生涯学習施策の振興へ携わり、その結果県下で高い評価を得た。 ④生涯学習フェスティバルは学びのきっかけ提供や日頃の学習活動の実践発表など、回を重ねるたび内容の精査・創意工夫を凝らし、昨年を100名以上上回る300名の参加を得た。 ⑤平成30年度「若山牧水全国顕彰大会みなかみ大会」のブレ大会として平成29年度は、若山牧水みなかみ紀行群馬県短歌大会を開催し、本大会に向けた取り組みの参考とした。 ⑥文化芸術に気軽に親しむ機会の提供を目的に、カルチャーセンター自主事業として、演劇集団「風」による【ジャンヌダルク】の上演、町内のコーラスグループによる「みなかみ町合唱祭」を継続して開催した。 ⑦カルチャーセンター利用者の利便性を考慮し、HPのリニューアル、センターだより発行、会議室のクールシェア実施、図書室の展示棚に工夫を凝らすことで利用者の増加に繋がった。(平成28年 20,190人→平成29年 21,039人 849人増) ⑧町内4図書室の利便性向上のため、担当職員で検討会を実施し方向性を検討した。	

今後の課題と取り組み（案）	基本事業名		今後の課題	今後の取り組み(案)
	1	学習意欲の高揚	①引き続き、生涯学習に対して意欲や関心のない町民へのきっかけ提供や意識付けが重要である。 ②各種広報媒体を活用し、町民が必要とする生涯学習情報の提供や啓発が必要である。	①生涯学習の楽しさや必要性を啓発し、学びのきっかけを提供する生涯学習フェスティバルの定着を図り、更なる充実をめぐる。 ②生涯学習の情報発信媒体として「生涯学習だより」・「カルチャーセンターだより」の紙面充実を図る。
	2	学習機会の充実	①町民の多様化するニーズを的確に捉え、公民館講座など学習機会を増やす必要がある。 ②自主的に学習活動するグループの活動を支援し、指導者の育成を図る必要がある。 ③文化協会加盟団体の中には高齢化が進み継続が困難な団体もあり、既存団体の活動支援を図る必要がある。	①多様なニーズに対応した講座や教室の企画・開催を行い町民に学びの機会を提供する。 ②地域の人材を発掘し、指導者としての活用を進め地域に根ざした学びの事業展開を進める。 ③カルチャーセンターの自主事業を充実させるとともに、各団体と連携し文化振興を図る。 ④若山牧水顕彰短歌全国大会を関係団体と連携し実施する。
	3	学習環境の整備	①地域の情報・学習拠点としての機能を充実するため、町内4図書室の環境整備を進める必要がある。 ②既存施設の老朽化の進行や、バリアフリー化の遅れなど、利用者の利便性と安全面を最優先した改修が必要である。 ③文化振興の中心施設として、カルチャーセンターの利用を安定させ、利用者の要求に添った環境整備を進める必要がある。	①町民の学びを支援するため、図書資料と貸出サービスの充実を図り、施設の利便性に配慮した学習環境の整備を進める。 ②既存施設の現状を的確に把握し、緊急性の高い箇所から改修を継続する。 ③文化芸術に気軽に親しむ機会の創出や活動の創作・発表の場としてカルチャーセンターの管理・運営の充実を図る。
	4			

27_生涯学習の推進

平成 29 年 8 月 16 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業		000001		社会教育委員事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		199,028 円														
施策体系	施策		27		生涯学習の推進				町の社会教育環境を検討、向上を目的として活動する社会教育委員の支援を行う。				社会教育委員が活発に活動していることを県内で広くPRし、その結果、各研修会等での事例発表以来を多数受けた。 また、社会教育委員の存在を町内に周知するために、生涯学習だよりを発行し、社会教育委員が寄稿した記事を掲載した結果、やりがいのできたといった意見があった。				事業実績															
	基本事業		01		学習意欲の高揚												会議回数															
									②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策																			
根拠	無	組織	教育		課		課長		杉木 隆司		社会教育委員の職務について明確になっておらず、やりがいを持った活動が図れていない				生涯学習フェスティバルの主管のみでなく、活動を活性化させるような提案をしていきたい。				平成28年度		平成29年度		単位									
事業期間	継続事業		会計		1		款		10										項		5		目		1		5		6		回	
	H ~ 年間																															

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業		000002		婦人会活動支援事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		1,288,000 円					
施策体系	施策		27		生涯学習の推進				婦人の地位向上に努め、豊かな人間性を培い、明るい町づくりに貢献することを目的に、下記の事業を実施する。 ・教養を高める人間性を豊かにする事業 （民謡講習会、指導者研修会、研修視察、） ・学校・家庭・地域社会への協力事業 （藤原湖マラソン協力、町民体育祭協力） ・健康づくり、婦人スポーツの振興事業 （バレーボール大会、健康づくり大会） ・会員相互の親睦を深める事業 （レクリエーション、新年会宴会） ・総会・定例会				町の広報に開催行事の案内や結果報告等を掲載し、町内へ婦人会活動の周知を行っている。				事業実績						
	基本事業		02		学習機会の充実				②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策				会員数						
	根拠		無		組織		教育課		課長		杉木 隆司		婦人会員も仕事をしている人が多く、すべての行事に参加するのは負担があるようである。あまり強制するのではなく、たとえ少人数でもやりたい人が楽しみながら参加できるような雰囲気作りを心がける。				仕事を抱えている婦人会も多く、全ての行事に参加していただくことは難しい。そのため、少人数でも参加したい人が楽しみながら参加できる雰囲気作りや機会を増やしていきたい。						
	事業期間		継続事業		会計		1		款		10		項		5		目		1				
H		～		年間														平成28年度		平成29年度		単位	
																		217		205		人	

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業		000004		おもしろ科学教室事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費	24,000 円					
施策体系	施策		27		生涯学習の推進				子どもたちの「科学する心」を育むとともに、青少年の学校外活動の充実を図るため、科学実験・科学工作・野外観察などの体験活動を実施する。				子どもたちや講師の先生のニーズに応じた運営を心がける。				事業実績					
	基本事業		02		学習機会の充実												実施回数					
									②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策									
根拠	無	組織	教育		課		杉木 隆司		特に問題なく良い活動ができていますので、引き続きこの状態を維持していきたい。				特に問題なく良い活動ができており、関係機関との連携も良好なので、今後も継続していきたい。				平成28年度		平成29年度		単位	
			生涯学習推進 G														2		2		回	
事業期間	継続事業		会計	1	款	10	項	5	目	1					2		2		回			

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業		000005		文化振興事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		2,241,000 円				
施策体系	施策		27		生涯学習の推進				文化・社会教育の振興を図るため 予算の範囲内で活動団体に対して 補助金を交付する。社会教育委員 で構成する審査会で交付の審査を 実施する。文化協会活動支援事業 と統合				補助金申請事務等を補助しながら、 7団体の文化振興事業へ補助金 を支出した。				事業実績					
	基本事業		02		学習機会の充実												交付件数					
									②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策									
根拠		有	組織		教育課		課長 杉木 隆司		様々な社会教育団体があるが、中には 補助金交付手続等の事務をほとんど行 えない(できる人がいない)団体がある。 しかし、事務担当者が一緒に申請書や 報告書を作成してあげないと、結局、こ のような団体は活動できなくなってい く。				高齢者が多い文化振興事業の中 で、若い世代に、もっと事業の ことを周知する必要がある。				平成28年度		平成29年度		単位	
事業期間		継続事業		会計		1 款		10 項		5 目		1		7				10		件		

27_生涯学習の推進

平成 29 年 8 月 17 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業			000006		生涯学習フェスティバル事業					① 事務事業の内容			③課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費	606,856 円		
施策体系	施策		27		生涯学習の推進					生涯学習に関連する気運向上を図り、関連団体の交流を促進する。			社会教育委員を主管団体にして広く協力者を募り、そうすることで事業周知も促進を図った。			事業実績			
	基本事業		02		学習機会の充実											協力者数・参加者数			
										②事務事業の課題			④今後の方針・課題解決策						
根拠	無	組織	教育 課		生涯学習推進 G		課長		杉木 隆司		どのような団体に協力を依頼しているか 協力団体の選考が難しくなっている			事業を重ねていく中で、メニューを取捨選択しながら一層有意義な取り組みにしていきたい。			平成28年度	平成29年度	単位
事業期間	継続事業		会計	1	款	10	項	5	目	1							50・200	70・300	人

平成 29 年 8 月 17 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業		000007		生涯学習講座事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		62,838 円				
施策体系	施策		27		生涯学習の推進				住民の生涯学習活動の入り口としての講座を開設する				毎回参加者アンケートを実施し、その中で住民ニーズを把握した。				事業実績					
	基本事業		02		学習機会の充実												講座回数・出席者数(延べ)					
									②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策									
根拠	無	組織	教育 課 生涯学習推進 G				課長 杉木 隆司				ニーズに基づきつつ、継続して学習できる環境があるメニューの選定に苦慮する				担当者を複数設けることで企画力の向上と負担の分散を図り、内容の充実を目指す。							
事業期間		継続事業		会計	1	款	10	項	5	目									1	平成28年度	平成29年度	単位
H ~ 年間																				10・255	8・125	人

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 6 月 25 日更新)

事務事業		000009		成人式事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		495,712 円											
施策体系	施策		27		生涯学習の推進				新成人の門出を祝福するため成人式を開催する。				「みなかみ源流大学」を活用し、講師の人選を行った。				事業実績												
	基本事業		02		学習機会の充実												参加者数・新成人数												
根拠		無組織		教育課 生涯学習推進課				杉木 隆司				②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策													
事業期間		継続事業 H ~ 年間				会計		1 款		10 項		5 目		1		予算が少ないため、選べる講演企画に限られる。予算を掛けず、なおかつ地元で愛着を持ってもらうためにも、出来るだけ地元の人材を活用したい。				出席率が高い状況にあるので、引き続き現状の出席率を維持できるように、厳かの内にも興味を引く講演内容を考える。				平成28年度		平成29年度		単位	
																187・230				177・226				人					

平成 29 年 8 月 5 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業		000011		カルチャーセンター文化振興事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		2,293,833 円						
施策体系	施策		27		生涯学習の推進				町民の興味をひく事業を、自主事業として開催し、生涯学習の推進・文化振興を図る。				打合せの日程等をこちらサイドから提案し、時間をつくり、できる限り自主事業の充実を図った。				事業実績							
	基本事業		02		学習機会の充実												振興事業実施回数							
									②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策											
根拠	無	組織	教育 課		生涯学習推進 G		課長		杉木 隆司		貸館事業は、突然入ってくるものであり、それに伴う打合せや準備等、コントロールするのが難いため、現状では自主事業と両立し更に充実させていくのは困難である。				運営委員会と検討を重ねたり、他の館を参考にして自主事業の充実に努める。				平成28年度		平成29年度		単位	
事業期間	継続事業		会計		1 款		10 項		5 目										3		2		2	

27_生涯学習の推進

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業			000012		若山牧水顕彰事業					① 事務事業の内容			③課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費	1,000,000 円				
施策体系	施策		27		生涯学習の推進					町にゆかりのある若山牧水を顕彰し、短歌大会を実施。平成30年度には、牧水顕彰大会全国大会を控え、プレ大会として実施。全国大会の参考とする。			実行委員会と綿密に連携して、他県での様々な事例を調査研究して、平成29年度の県大会、平成30年度の全国大会企画立案に役立てた。			事業実績					
	基本事業		02		学習機会の充実											作品応募者数					
										②事務事業の課題			④今後の方針・課題解決策								
根拠	無	組織	教育課		生涯学習推進課		G			杉木 隆司			全国大会開催するには、関係部署等連携し協議が必要。			引き続き実行委員会と綿密な連携を行い、積極的に調査研究することにより県大会、全国大会を成功させる。			平成28年度	平成29年度	単位
事業期間	継続事業		会計		1	款	10	項	5	目	1	0							924	人	
			H 28 ～ 30 年間																		

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業		000001		利根沼田文化会館運営費負担事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		25,204,000 円				
施策体系	施策		27		生涯学習の推進				利根沼田地域の福祉の増進と文化の発展に寄与するため利根沼田広域市町村圏進行整備組合で設置した文化会館の維持管理に要する費用を圏域市町村で負担するもの。				平成29年度は、大ホール等工事のため利用者が激減。				事業実績					
	基本事業		03		学習環境の整備												施設利用者数					
									②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策									
根拠	無	組織	教育 課		生涯学習推進 G		課長 杉木 隆司		建設当時と37年経過した現在とで利用実態が変わってきており、当初の費用負担が現状とマッチしているのか検証すべき。				全面改修工事が終了し、今後の利用促進に協力する。				平成28年度		平成29年度		単位	
事業期間	継続事業		会計		1 款		10 項										5 目		1		85,341	
		H ~ 年間																				

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業		000003		中央公民館管理運営事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		4,433,283 円							
施策体系	施策		27		生涯学習の推進				中央公民館の管理運営を行い、社会教育の推進をはかる。社会教育委員を含めた町内の様々な社会教育団体の事務局が置かれ、それぞれの事務を行う。				施設の改修修繕 LED照明器具交換工事 エアコン設置工事				事業実績								
	基本事業		03		学習環境の整備												公民館利用者数								
									②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策												
根拠		無		組織		教育課		生涯学習推進課		G		杉木 隆司		他市町村の公民館利用状況を参考にして、利用料、受付方法等を検討していく。また、施設の老朽化により、修繕箇所が増加してきている。				施設の経年劣化により、修繕必要箇所が発生すると推測されるので、予算等支障のない範囲で検討・実行していく。							
事業期間		継続事業		会計		1		款		10		項		5		目		2		平成28年度		平成29年度		単位	
H		～		年間																9,398		6,827		人	

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業		000004		水上公民館管理運営事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		5,596,417 円			
施策体系	施策		27		生涯学習の推進				主に水上地区内の社会教育団体が社会教育活動を実施している水上公民館の管理運営を行い、社会教育の推進をはかる。その他、一般町民が様々な会合を実施するために施設を利用する際に便宜を図る。				施設の改修修繕 雨漏り調査修繕 畳張り替え				事業実績				
	基本事業		03		学習環境の整備												公民館利用者数				
									②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策								
根拠		無		組織		教育 課		生涯学習推進 G		課長		杉木 隆司		施設の老朽化が目立ってきている。緊急避難場所に指定されていることもあり、注意が必要。				利用者の安全面等を考慮し、緊急性の高い修繕箇所については迅速な対応が必要となるので随時検討していく。			
事業期間		継続事業		会計		1 款		10 項		5 目		2		平成28年度				平成29年度		単位	
H ~ 年間														9,365				8,386		人	

27_生涯学習の推進

平成 29 年 8 月 5 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業		000006		カルチャーセンター管理運営事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		13,334,949 円													
施策体系	施策		27		生涯学習の推進				センターの施設・設備及び児童図書室の環境を整備し、文化活動・鑑賞等の場や機会の提供及び情報の発信等の各種サービスを行うことによって、芸術文化に親しんでもらうとともに、生涯学習の推進に取り組む。				調光・照明を操作できるようにマニュアル化を進めた。また、ホール利用申請者との打合せを充実し、綿密に準備することにより円滑な利用を心掛けた。結果概ね高評価をいただき、リピート利用が増加している。				事業実績														
	基本事業		03		学習環境の整備												施設の利用者数 ・施設の利用回数 (全施設利用団体の累計)														
	根拠		無		組織		教育課		課長		杉木 隆司		②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策														
事業期間		継続事業		会計		1		款		10		項		5		目		3		賃館事業は、突然入ってくるものであり、それに伴う打合せや準備等、コントロールするのが難しい。また、調光や音響の操作技術は異動してすぐにはできないため、マニュアル化を進める。図書関係では、図書費の増額により、蔵書は増えつつあるが、これにより書架の不足という新たな問題が発生している。		調光や音響の操作技術の技術研修等進めるとともに専門スタッフの配置を検討していきたい。また、図書関係では、蔵書の充実を図ると共に、本を利用しやすい状態を工夫する。				平成28年度		平成29年度		単位	
H		～		年間																20,210・697		21,519・703		人・回							

平成 29 年 8 月 21 日作成 (平成 30 年 7 月 6 日更新)

事務事業		000007		水上中部コミュニティセンター管理事業					① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費	261,035 円		
施策体系	施策		27		生涯学習の推進					水上中部コミュニティセンターの管理運営を行い、社会教育の推進をはかる。				施設の各種点検 除雪機の修繕				事業実績		
	基本事業		03		学習環境の整備													利用者数		
					②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策											
根拠	無	組織	教育		課	杉木 隆司				委託協定を結んでいる大穴地区老人会は、活発にこの施設を活用している。今後も管理作業を委託し、より一層、施設を活用してもらう。				平成28年度		平成29年度		単位		
事業期間		継続事業		会	計	1	款	10	項					5	目	3	1,683		1,755	

平成 29 年 8 月 15 日作成 (平成 30 年 6 月 25 日更新)

事務事業		000008		図書室運営事業				① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費		2,053,327 円							
施策体系	施策		27		生涯学習の推進				資料の購入・貸出・整理・保管・調査相談等の業務を行い、町民が教養及び知識を習得したり、生活に役立つ情報を得るための支援をする。又、子どもから高齢者まで幅広く利用できる環境のもとに、読書推進及び生涯学習活動の円滑化を図る。県図書館協会が主催する研修への参加及び県内の公共図書館との連携により、図書室活動の向上を図ると共に、相互貸借制度を活用して、利用者の要求に応じた資料提供を円滑に行う。				課題の一つである中央公民館図書室の照明がLEDに交換された。室内の薄暗さが解消され、書架の資料も探しやすくなった。又、老朽化した椅子を交換し安全性と利便性の向上に努めた。町内図書室の利便性向上のため、担当職員で検討会を実施し、今後の方向性を検討した。				事業実績								
	基本事業		03		学習環境の整備												図書室利用者数								
									②事務事業の課題				④今後の方針・課題解決策												
	根拠		無		組織		教育課		課長		杉木 隆司		緊縮財政下における効率的且つ効果的な図書室運営を目指していく。老朽化した施設の改善及び電算システムの導入等により利便性を図る。又、教育文化施設の中核を担うためにも、適正な予算及び人員の確保が必要である。				当面は既存の施設の運営改善及び充実に努め、住民ニーズに応じていく。懸案事項のシステム導入及び町内施設のネットワーク化、施設の改善(書架の更新及び増加、学習スペースの確保等)等、財政面と調整を図りながら環境整備を進める。								
事業期間		継続事業		会計		1		款		10		項		5		目		5		平成28年度		平成29年度		単位	
H		～		年間																6,199		5,707		人	